

スポーツ文化施設建設運営特別委員会

日時 令和4年12月16日（金）
午前10時
場所 第四委員会室

○ 議 題

《文化創造推進課》

- 1 更上閣ガーデンレストラントライアル事業の実施結果について

《スポーツ振興課》

- 2 八戸市体育館の建て替えに関する基本構想の策定について
- 3 新井田公園テニスコート増設等工事について

《長根屋内スケート場》

- 4 JOC認定競技別強化センターの認定について

《国体室》

- 5 特別国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会の開催準備状況について

更上閣ガーデンレストラン トライアル事業の実施結果について

1. 実施概要

国の登録有形文化財である更上閣及び更上閣にぎわい広場を市民に広く知ってもらい、日常的な利用促進につなげることを目的に、キッチンカー等を活用した実証実験を実施した。

実施にあたり、更上閣の中庭と更上閣にぎわい広場などにテーブル10台とチェア30脚を設置した。

(1) 日 時 令和4年10月15日(土)～24日(月) 11時～14時(3時間)
※10月23日(日)を除いた9日間。

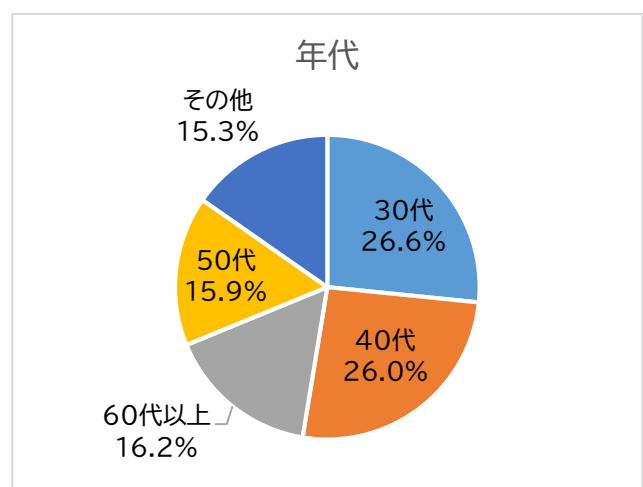
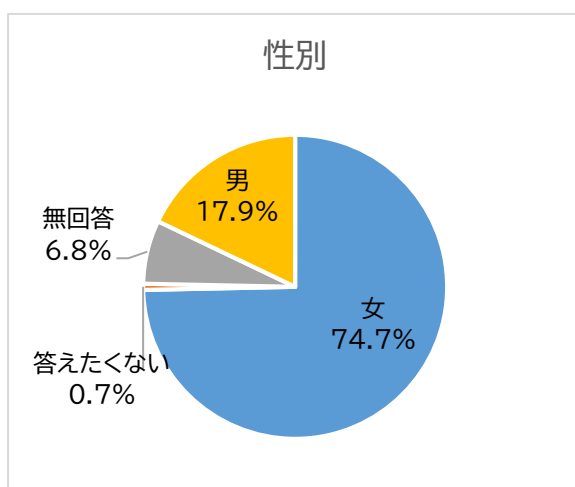
(2) 出店回数 8事業者で延べ39回
(うち2事業者で延べ13回がテントでの出張販売)

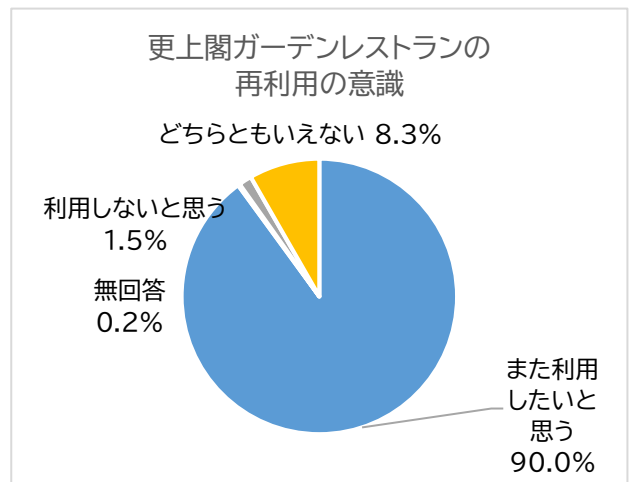
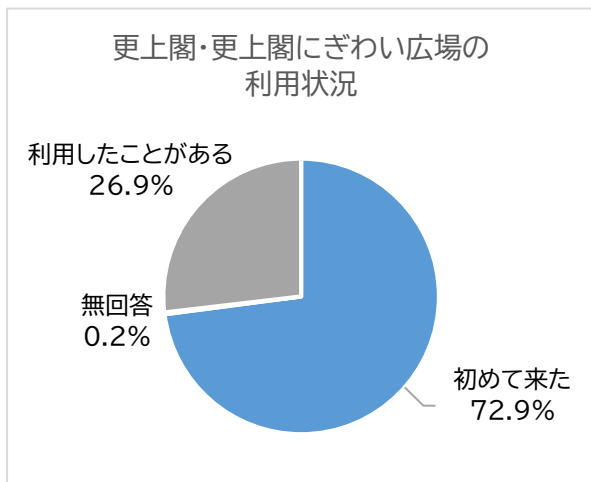
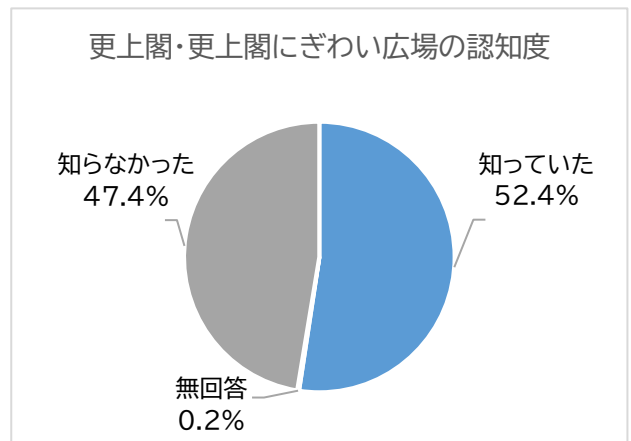
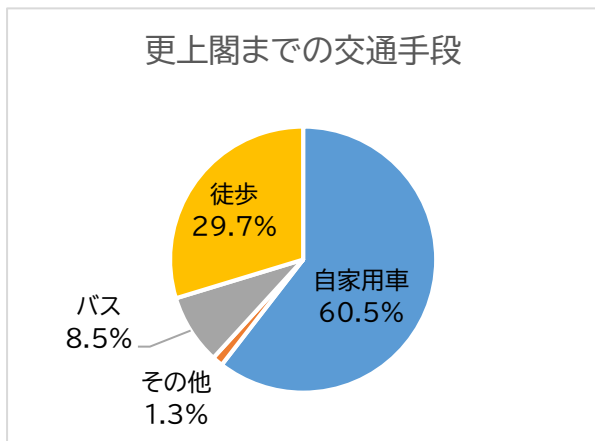
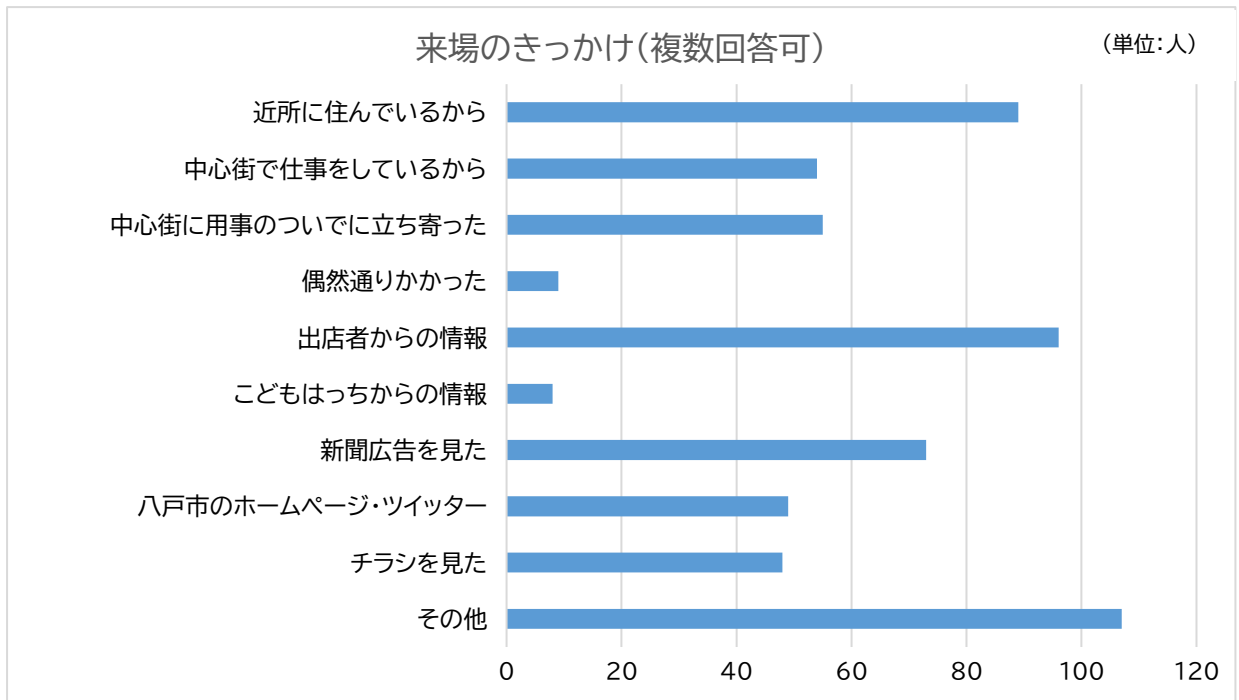
(3) 来場者数 約1,050人(職員がカウンターにより計測)
※更上閣見学者数:28組71人

2. アンケート調査結果

トライアル事業の効果・課題と更上閣及び更上閣にぎわい広場の認知度や顧客満足度等を把握することを目的に、来場者と出店者にアンケート調査を実施した。

(1) 来場者向けアンケート【回答者数:458件(回答率約40%)】





(2) 出店者向けアンケート

- ・ 来店者数の合計は約 1,300 人（出店者によるカウント）。
 - ※ 1 人が複数店で買い物をする場合があるため、来場者数以上の数字となる。
 - ※ 1 日平均約 145 人が来店。1 日の 1 店舗平均は約 33 人。
- ・ 全ての出店者が、初日の売上の感触は「想定より売れた」と回答。
- ・ 全ての出店者が、来年のトライアル事業に「出店したい・しても良い」と回答。

(3) 実証実験結果の評価

更上閣ガーデンレストラントライアル事業は、「はちのへ文化のまちづくりプラン」に掲載した歴史的建造物で通常行わないイベント等に使用するユニークベニユーの取組事例として実施したものである。

期間中の来場者は約 1,050 人と多くのお客様に来場していただき、アンケート調査の結果では、更上閣・更上閣にぎわい広場を「知らなかった」と回答した割合が 47.4%、「初めて来た」と回答した割合が 72.9%であり、更に施設見学者が 28 組 71 人で、更上閣を利用してみたいという声もあるなど、国の登録有形文化財「更上閣」の認知度向上に成果があった。

また、同様のトライアル事業を実施した際に「また利用したい」と 9 割が回答したことから、事業ニーズは高く、来年度も実施予定とする。

来年度のトライアル事業では、広場使用料の検討と、他の文化施設等との連携による回遊やにぎわい創出効果の検証を行うものとした。

3. 更上閣ガーデンレストランの様子

出店スペース



出店スペース



キッチンカーに並ぶお客様



飲食スペース



更上閣中庭



更上閣にぎわい広場



八戸市体育館の建て替えに関する基本構想の策定について

1 構想策定の目的

八戸市体育館の建て替えに関する基本的な考え方をとりまとめること。

2 これまでの経緯

時期	内容
令和3年11月24日 ～令和4年1月11日	競技団体アンケート調査、市民アンケート調査、スポーツ施設指定管理者アンケート調査及び地域プロスポーツチームアンケート調査実施
令和4年1月20日	第1回八戸市体育施設整備検討委員会開催 ・八戸市体育館に関するアンケート調査結果等
令和4年2月7日	第2回八戸市体育施設整備検討委員会開催 ・長根公園内体育施設現地視察
令和4年2月14日	第3回八戸市体育施設整備検討委員会開催 ・八戸市体育館の機能・規模等
令和4年5月26日	第4回八戸市体育施設整備検討委員会開催 ・八戸市体育館の機能・規模・配置等
令和4年6月29日 ～令和4年9月26日	八戸市スポーツ協会加盟競技団体との意見交換会開催（体操協会、武術太極拳連盟、卓球協会、ソフトテニス協会、柔道協会、バレーボール協会、バスケットボール協会、水泳協会、弓道協会及びウエイトリフティング協会 ※希望競技団体のみ実施）
令和4年7月20日	第5回八戸市体育施設整備検討委員会開催 ・八戸市体育館の建て替えに関する基本構想(案)諮問
令和4年7月21日 ～ 8月31日	パブリックコメント実施
令和4年10月12日	第6回八戸市体育施設整備検討委員会開催 ・八戸市体育館の建て替えに関する基本構想(案)
令和4年11月16日	第7回八戸市体育施設整備検討委員会開催 ・八戸市体育館の建て替えに関する基本構想(案)
	八戸市体育館の建て替えに関する基本構想(案) 答申
令和4年11月17日	八戸市体育館の建て替えに関する基本構想の策定

3 建て替えに関する基本的なコンセプト

「する」スポーツ、「みる」スポーツ、「ささえる」スポーツ活動を促し、スポーツのある日常生活を支えるための「多様な世代の誰もがスポーツに親しめるスポーツ振興拠点」とし、主な日常時の利用はスポーツ活動とするが、非日常時は、スポーツ施設としてだけでなく、各種コンベンションの開催等多目的利用が可能な施設となるよう必要な機能を整備。

4 新たな体育館の施設の構成に関する考え方

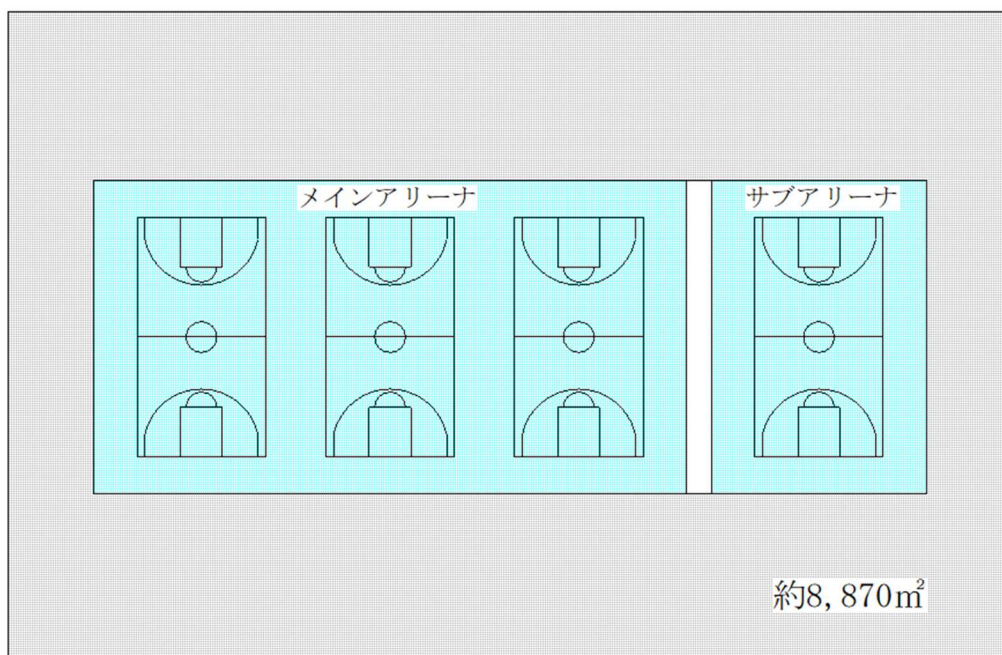
(1) メインアリーナ

バスケットボールコート (806 m²) 3 面分程度の面積とし、観客席については固定式で現状の 3/4 程度の 1,500 席以内を想定。また、大規模な大会等の開催の際の座席については、仮設により増やし、対応することを想定。

(2) サブアリーナ

バスケットボールコート (806 m²) 1 面分程度の面積とし、メインアリーナと連続性を持たせることを想定。また、観客席については固定式で 500 席以内とし、メインアリーナとあわせて、現状 (2,000 席) と同程度の席数を確保することを検討。

(メインアリーナ 3 面+サブアリーナ 1 面のイメージ)



(3) 柔道場

試合場サイズ2面分(31m×16m)程度の面積とすることを想定し、観客席の整備についても検討。

(4) 剣道場

試合場サイズ2面分(28m×14m)程度の面積とすることを想定し、観客席の整備についても検討。

(5) トレーニングルーム

現状(面積717㎡)と同程度の面積とすることを想定。

(6) プール

8レーン程度の屋内25m公認プールの整備について検討。

(7) その他の諸室

会議室、器具庫、スタッフルーム、更衣室、シャワー室、医務室、多目的室及びキッズルーム等の必要な施設の整備を検討。

5 長根公園内の他のスポーツ施設等の構成に関する考え方

(1) 武道館

武道館は存置し、レスリング場等として利用を継続し、柔道場及び剣道場は新体育館内に整備。

(2) 弓道場

存置し、利用を継続。

(3) プール

廃止し、新体育館内への整備について検討。

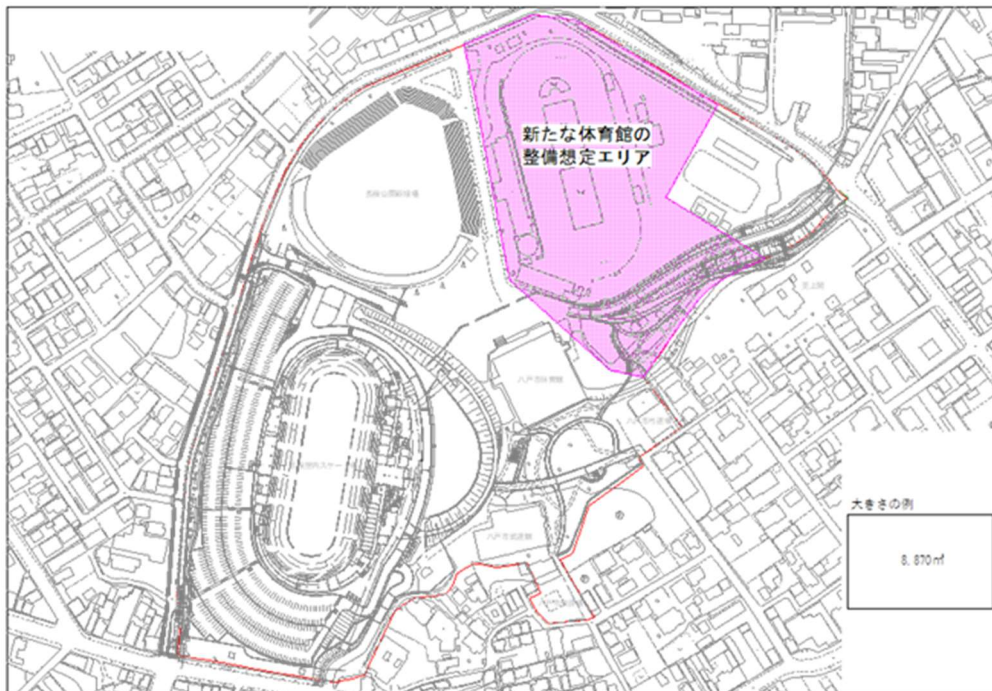
(4) スポーツ研修センター

廃止し、スポーツ研修センター及び長根屋内スケート場等の会議室の利用状況等を踏まえ、新体育館内に会議室を整備。

(5) スケートリンク

廃止。

6 新たな体育館の整備想定エリア



7 建て替えに向けて配慮すべき事項

(1) ユニバーサルデザイン

多様な世代の誰もが利用しやすい体育館となるよう配慮。

(2) 環境負荷の低減

可能な限り環境負荷の低減を図るよう配慮。

(3) 将来の需要に応じた仕様

市内のスポーツ競技人口の動態及び現状の市内施設の利用率等も踏まえ、将来の需要に応じた体育館となるよう配慮。

(4) 快適性

する・みる・ささえるスポーツそれぞれの立場における快適性に配慮。

(5) 配置

中心市街地との回遊性に配慮するとともに、長根公園外からのアクセス及び公園内の他の施設との動線も踏まえ、検討。

(6) 防災機能

長根公園は、地域防災拠点及び広域避難場所に位置付けられており、また、その中に立地する長根屋内スケート場は地域防災拠点施設として、帰宅困難者等の一時避難施設、消防・警察・自衛隊等の災害応急復旧活動拠点及び救援物資等集積場所等としての役割を担っていることから、その役割について検討。

8 建て替え・運営手法

市が自ら建て替え等を行う従来型手法のほか、民間の創意工夫等を活用したPFI手法等の導入についても検討。

9 着工までの流れ

基本構想	体育館の建て替えに関する基本的な考え方をまとめたもの。
基本計画及び事業手法 検討調査	基本構想でまとめた内容について整理し、より詳細な規模、仕様及び設備等をまとめるとともに、 従来型手法や民間の創意工夫等を活用したPFI手法等の事業手法について検討。
基本設計	基本計画で示した内容について、法令や敷地の条件等を踏まえながら、基本的な図面としてまとめたもの。
実施設計	基本設計に基づき、実際の工事を考慮した上で、詳細な図面を作成するとともに、具体的な工事費の積算を行うもの。
着工	

新井田公園テニスコート増設等工事について

1 工事の概要

新井田公園内の既設のクレイコート6面を人工クレイコートに改修するとともに、コート2面、照明設備及び管理棟を整備するもの。

2 予算額（令和2年度から4年度までの継続費）

単位：千円

年度	事業費	財源		
		国庫 <small>(社会資本整備総合交付金)</small>	市債	一般財源
令和2年度	200,000	100,000	100,000	0
令和3年度	200,000	100,000	90,000	10,000
令和4年度	0	0	0	0
合計	400,000	200,000	190,000	10,000

3 工種

(1) 実施済の工種

①増設等工事

工期	令和3年5月13日～令和4年3月31日
契約者	中当建設株式会社（八戸市大字田向字向平12番地1）
契約額	119,713,000円(うち消費税等の額10,883,000円)

②電気設備工事

工期	令和3年7月31日～令和4年3月25日
契約者	株式会社京谷電気（八戸市北白山台二丁目8番23号）
契約額	96,030,000円(うち消費税等の額8,730,000円)

③管理棟建築工事

工期	令和4年3月29日～令和4年8月10日
契約者	有限会社マルキ佐々木工務所（八戸市白銀一丁目6番地19）
契約額	13,475,000円(うち消費税等の額1,225,000円)

(2) 実施中の工種

①増設等工事 (その2)

工期	令和4年6月22日～令和5年3月24日
契約者	株式会社高橋工務店 (八戸市小中野八丁目3番4号)
契約額	141,654,700円(うち消費税等の額12,877,700円)

※園路舗装の再設置による樹木の伐採工の増工、及び既設スタンドの老朽化等によるスタンド整備工(約300席分)の増工等に伴う契約額の変更(変更前141,654,700円→変更後170,852,000円)を予定。

4 増設等工事 (その2) のスケジュール

月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
準備工										
公園施設等撤去・移設工										
グラウンド・コート舗装工										
グラウンド・コート施設整備工										
スタンド整備工										
雑工										

5 増設等工事 (その2) の進捗率 96% (令和4年11月30日時点)

6 増設等後の新井田公園テニスコートのイメージ



参考：新井田公園テニスコート

・全景1（令和4年12月5日撮影）



・全景2（令和4年11月11日撮影）



7 愛称の公募について

(1) 目的

市内外の競技者や市民の皆様に親しまれるよう、愛称を募集するもの

(2) 募集期間

令和4年12月20日（火）から令和5年1月31日（火）まで

※広報はちのへ1月号及び八戸市HP等で周知予定。

(3) 応募資格

市内に在住・通勤・通学している方、または八戸市にゆかり、愛着のある方

(4) 愛称の条件等

- ・10文字以内のもの
- ・新井田公園テニスコートのイメージとしてふさわしいもの
- ・八戸市内外の利用者など幅広い方にご利用いただくため、親しみやすく覚えやすいもの
- ・他の名称や商標などに類似していないもの
- ・自作で未発表のもの

(5) 応募方法

持ち込み、郵送、電子メール又はファクシミリとし、1人3点まで

(6) 採用作品

応募作品の中から最優秀作品1点を愛称として採用

JOC認定競技別強化センターの認定について

八戸市長根屋内スケート場について、公益財団法人日本スケート連盟から公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）に対して、JOC認定競技別強化センターとして推薦した結果、認定されたもの。

1 概要

- ・国際競技力の向上を目的に、国が設置、指定するナショナルトレーニングセンター（NTC）及びNTC競技別強化拠点施設は、トップレベル競技者の育成、強化の中心的な拠点として位置づけられている。
- ・一方、1か所の集中的なトレーニングに偏らず、異なった環境でもトレーニングは必要であり、その効果も期待できることから、JOCではNTC及びNTC競技別強化拠点施設以外の国内既存トレーニング施設を「JOC認定競技別強化センター」とし、各中央競技団体の選手強化活動が効果的に行えるよう、施設活用を支援していくことを目的としている。
- ・中央競技団体から推薦された施設を基準に基づき認定するとともに、認定施設に対し、中央競技団体が行う選手強化活動への協力依頼と認定看板を設置する。

2 認定施設

八戸市長根屋内スケート場

3 認定日

令和4年10月20日（木）

4 認定期間

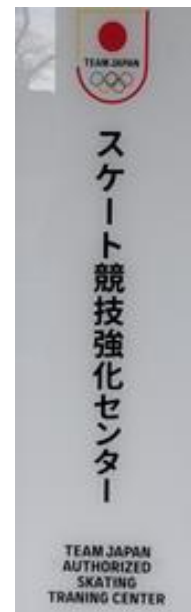
認定日から第25回オリンピック冬季競技大会（2026/ミラノ・コルティナダンペッツォ）開催年度末（2026年3月末日）まで

5 期待される効果

- (1) オリンピック強化指定選手等、トップアスリートの練習拠点
- (2) トップアスリートと地元選手との交流による競技力向上
- (3) 合宿による施設利用の増加や交流人口の拡大による地域活性化

6 JOC認定競技別強化センター看板受領式

- (1) 期 日 令和4年12月29日（木）
- (2) 場 所 八戸市長根屋内スケート場
- (3) 出席者 (公財)日本オリンピック委員会理事 伊東 秀仁
((公財)日本スケート連盟副会長)
八戸市長 熊谷 雄一



特別国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会の
開催準備状況について

1 開催概要

- (1) 大会テーマ 「未来へつなぐ八戸国体」
- (2) スローガン 「銀盤に 君の軌跡よ 花ひらけ」

(3) 競技会の日程及び会場

会場 地	式典・競技	日 程									会 場	所 在 地	
		2023年1月				2月							
		28 (土)	29 (日)	30 (月)	31 (火)	1 (水)	2 (木)	3 (金)	4 (土)	5 (日)			
八戸市	開 始 式	午前 ○									八戸市公会堂	八戸市内丸一丁目1番1号	
	表 彰 式 (スケート)						午後 ○				YSアリーナ 八戸	八戸市大字売市 字興遊下3番地	
	表 彰 式 (アイスホッケー)								午後 ○				
	ス ケ ー ト			○	○	○	○						
		スピード			○	○	○	○					
		ショ ー ト ト ラ ック	○	○								テクノルアイ スパーク八戸	八戸市新井田西 四丁目1番1号
	フィ ギュ ア	○	○	○	午前 ○						FLAT HACHINOHE	八戸市大字尻内 町字三条目7番 地7	
	アイスホッケー					○	○	○	○	○	テクノルアイ スパーク八戸	八戸市新井田西 四丁目1番1号	
						○	○	○	○	○	FLAT HACHINOHE	八戸市大字尻内 町字三条目7番 地7	
南 部 町						○	○	○	○		ふくちアイス アリーナ	三戸郡南部町大 字苫米地字上根 岸73番地1	

(4) 参加人員

選手・監督 約1,430人
選手団本部役員 約 320人
視察員 約 100人
合計 約1,850人

2 これまでの開催準備状況

大会の開催準備及び運営に関する事業を行うため、関係機関、団体の代表者で構成する実行委員会を組織するとともに、関係者とともに開催に向けた事務を進めた。

令和3年7月12日	特別冬季国体青森県実行委員会の設立（会長：三村青森県知事）
令和4年5月30日	特別冬季国体青森県実行委員会第2回総会の開催
7月22日	特別冬季国体八戸市実行委員会の設立（会長：熊谷八戸市長）
12月7日	特別国体南部町実行委員会の設立（会長：佐々木南部町副町長）

3 今後の予定

令和4年12月	事務局各部会議 大会参加申込み受付開始
5年1月	5日 大会参加申込み受付締切 事務局各部会議 配宿作業 27日 全国代表者会議、全国報道員会議、主催者連絡会議 ショートトラック監督会議、フィギュア監督会議 28日 開始式 29日 スピード監督会議 31日 アイスホッケー監督会議
2月	2日 スケート競技会表彰式 5日 アイスホッケー競技会表彰式
3月	下旬 青森県実行委員会総会 下旬 八戸市実行委員会総会